

令和6年度学校評価(自己評価)について

幼稚園における学校評価については、園における教育活動等の成果や取り組みを検証することにより、園の運営を園のみでなく保護者や地域の皆さんの理解と協力を得ながら園の環境整備を含め、幼児教育をより良い充実したものにするために実施しています。

令和6年度の学校評価(自己評価)を実施しましたのでその結果を公表し、今後の運営に生かしていきます。

1、教育目標及び理念

- * 自然からの恩恵ときびしさを感じ、自然を愛する子ども
- * 自分で考えて、工夫して、やり通すことができる子ども
- * 夢や希望やあこがれを持つことができる子ども

2、評価結果

教育課程を基に年間保育計画を立案し充実した保育を目指しています。

昨年度に引き続き、子どもたちの興味や関心を基に、子どもたち主体の保育を心がけました。今後も職員研修や研修会、公開保育などに積極的に参加し、自園の改善点を探り、質の高い保育を目指していきたいと思えます。

どの項目も「あてはまる、大体あてはまる」と回答した教師が多く、これからも自身の行動を振り返り、客観的な評価を継続することが大切だと感じています。

また、子育てや介護をしている職員が多く、読書や趣味、ボランティアなどに時間を設けることができるように引き続き仕事の効率化を計ることが課題です。

	評価項目	結果	内 容
1	保育の計画性	A	園の教育理念・教育方針をよく理解し、安全な環境構成を心掛けています。ただし、幼稚園教育要領について、さらに理解を深める必要があります。
2	保育の在り方、 幼児への対応	A	一人ひとりの幼児の良さを認めようとする姿が見られます。また、教師間の情報共有を意識して行っていることがわかりました。
3	教師としての 資質や能力・ 良識・適性	A	保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもち、職務上知りえたプライバシーについてしっかりとした配慮が見られます。ただし、他の意見を素直な気持ちで聞き、自分の意見を述べることに关しては努力が必要です。
4	保護者への対応	A	全ての保護者に対し親しみを持ち、信頼関係の継続を実践しています。また、クレームに対して教職員全体で共通理解し対応している認識が高いです。
5	地域の自然や 社会とのかかわり	A	地域の方とのコミュニケーションの大切さを自覚し、協力していただいていることへの感謝を持ち、良好な関係を築くように努めています。
6	研修と研究	A	研修会や研究会に、自己課題を持ち参加しています。ただし、保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等への関心が若干不足しています。